

Q: 口腔機能低下症の管理方法について教えてください。その2

(3回シリーズの第2回目)

【口腔機能低下症の実際の管理】前回の続きです。

③ 口腔機能の低下とその管理

iv) 口唇や舌の機能低下は、筋力の低下と運動の巧緻性の低下が原因となる。口唇や舌機能の低下が生じると、食塊の形成不全が生じ咀嚼や嚥下にも負の影響を与え、摂取できる食品の種類や量が限定され、その結果として低栄養につながる。また、口唇や舌機能の低下によって、義歯の不具合や歯の欠損などに問題がなくても発音・構音障害を生じることがある。高齢者の発音障害は単にコミュニケーションが困難になるだけでなく友人と会うのを嫌がったり、外出を避けたりするようになり、社会性の低下を引き起こすこともある。口唇閉鎖力を向上させる訓練として、りっぷるとれーなー（松風）等を用いた口輪筋の訓練を行う。舌圧を向上させる訓練として、等尺性収縮を目的とした抵抗訓練の有効性が認められている。舌圧子やペコぱんだ（ジェイ・エム・エス）を用いて一定の負荷を与えるようにして抵抗運動を行ったり、口蓋に対して押し付けたりする訓練が有効である。効果は早期に現れることが知られており、適宜その効果を測定するとともに患者へフィードバックするなど、継続的な訓練が可能のように働きかける。舌圧の維持向上のための管理を実施した患者に対しては、必要に応じて3か月毎に舌圧検査を実施することにより、訓練効果の確認および患者へのフィードバックならびに患者のモチベーションの維持等を図ることができる。

v) また、口唇や舌の運動範囲の拡大を目的とした可動域訓練、単音節の発音訓練、運動訓練、無意味音音節連鎖訓練、構音訓練、早口言葉、自動訓練、吹き戻しを用いた訓練など口唇・舌の巧緻性の訓練を行う。口唇や舌の機能低下はコミュニケーション能力の低下につながるため、社会性の低下を引き起こすことがある。社会性の低下は社会的フレイルにつながるため、筋力増強訓練の指導とともに社会生活活動の維持・向上の重要性についても説明し、動機付けを行う。

vi) 歯・顎・口唇・頬・舌などの複合的な機能である咀嚼機能の低下に対しては、嚥下体操の指導、開口訓練などのほか咀嚼訓練用食品たとえばプロセスリード（大塚製薬工場）等による直接的な咀嚼訓練の指導を行う。嚥下機能低下が認められる場合は嚥下障害が含まれる可能性があるため、管理開始前に嚥下障害のスクリーニング検査を含めた検査を行っておく方がよい。

管理計画書

患者氏名		年齢 歳	性別 男・女
------	--	------	--------

年 月 日

【全身の状態】

1 基礎疾患	心疾患・肝炎・糖尿病・高血圧症・脳血管疾患・その他（ ）
2 服用薬剤	1. なし 2. あり（薬剤名： ）
3 肺炎の既往	1. なし 2. あり 3. 繰り返りあり
4 栄養状態	体重： Kg, 身長： m 体格指数（BMI）： 1. 正常範囲内 2. 低体重（やせ） 3. 肥満
5 体重の変化	1. なし 2. あり（ ） か月で Kg の 増・減（ ）
6 食事形態	1. 常食 2. やわらかい食事 3. その他（ ）
7 食欲	1. あり 2. なし（理由： ）

【口腔機能の状態】

1 口腔内の衛生状態	検査結果（基準値 ）	1. 正常範囲内 2. 低下
2 口腔内の乾燥程度	検査結果（基準値 ）	1. 正常範囲内 2. 低下
3 咬む力の程度	検査結果（基準値 ）	1. 正常範囲内 2. 低下
4 口唇の動きの程度	パ発音速度 回/秒（基準値 6.0 回/秒未満）	1. 正常範囲内 2. 低下
5 舌尖の動きの程度	タ発音速度 回/秒（基準値 6.0 回/秒未満）	1. 正常範囲内 2. 低下
6 奥舌の動きの程度	カ発音速度 回/秒（基準値 6.0 回/秒未満）	1. 正常範囲内 2. 低下
7 舌の力の程度	舌 圧 kPa（基準値 30kPa 未満）	1. 正常範囲内 2. 低下
8 咀嚼の機能の程度	検査結果（基準値 ）	1. 正常範囲内 2. 低下
9 嚥下の機能の程度	検査結果（基準値 ）	1. 正常範囲内 2. 低下
10 歯・歯肉の状態	プラーク（なし・あり） 歯肉の炎症（なし・あり） 歯の動揺（なし・あり）	
11 口腔内・義歯の状態		

【口腔機能管理計画】

1 口腔内の衛生	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
2 口腔内の乾燥	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
3 咬む力	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
4 口唇の動き	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
5 舌尖の動き	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
6 奥舌の動き	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
7 舌の力	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
8 咀嚼の機能	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す
9 嚥下の機能	1. 問題なし 2. 機能維持を目指す 3. 機能向上を目指す

【管理方針・目標（ゴール）・治療予定等】

--

【再評価の時期・治療期間】

再評価の時期：約（ ）か月後
